

令和2年度 学校運営等に関する評価書

学校名

和歌山市立広瀬小学校

作成日

令和3年3月10日

1 教育目標

たくましく 豊かに生きぬく子を育てる

2 学校自己評価についてのご意見

	確かな学力の向上	豊かな心の育成	健やかな体の育成	地域とともにある学校
指標	<p>・「自分の考えを発表しようとしている」…児童90%</p> <p>・わかる授業、子供主体の授業を実践した…児童・教師90%</p>	<p>・学校が楽しいと感じる…児童90%</p> <p>・いじめの解消率…100%</p> <p>・月1回の「広瀬の子」</p> <p>・校内委員会の実施…学期1回以上</p>	<p>・積極的に運動を行うよう計画し、実践した…教師90%</p> <p>・給食後の歯磨き…児童100%</p> <p>・保護者や地域と連携した訓練の実施…年2回</p>	<p>・学校の様子がよく伝わった…保護者90%</p> <p>・中学校区で接続、連携した取組を具体的に実践できた…教師90%</p>
重点目標に対する意見	<p>教科の学習だけでなく特別活動や道徳の学習でも思考力や表現力を育てる取組を続けてほしいと思います。将来を生きる子どもたちに必要な力は、学校生活全体で育っていくものだと思います。</p>	<p>広瀬の児童の優しさをベースに豊かな心を育てることはこれからの時代にとっても大切なことです。制約のある中でも異年齢の児童が仲良く思いやりの心をもって学校生活を送ることを続けてほしいと考えます。</p>	<p>これからの社会を生きぬくためにより良い生活習慣を身に付け、自分の生活を管理できるようになることはますます必要です。</p>	<p>広瀬地区では、学校やPTA、地域の各種団体や自治会等と一緒にになって取り組む機会が年間を通して数多くあり、地域の中で子どもが育っています。地域との連携は大切な目標の一つです。</p>
取組状況に対する意見	<p>子どもたちが自分の考えと友達の考えをどちらも大事にしながらかつて物事を決めて進めていく力はこれからの子どもたちに必要な力です。様々な学習の場面を通じて考える力をつけてほしいと思います。</p>	<p>今年度は、制約が多く、十分な異年齢の交流が実現できなかったと思います。これからも工夫して異年齢の活動で心を育てるのは大切なことです。人とかかわる中で、あいさつ等の礼儀も身に付けてほしいと思います。</p>	<p>自分の命を自分で守れるように、危険を察知できる力や危険な場面に遭遇したときにどのようにふるまうかを考えられるような取組も必要です。</p>	<p>今年度は例年のような行事が実施できず残念でしたが少子化傾向の中で、これからも、地域が一丸となって子育てを支援する必要があります。</p>
取組の適切さの検証結果に対する意見	<p>基礎的基本的な学習内容を確実に身に付けることが必要です。また、じっくりと読んで考える力が必要であることから、読書の機会を持つことは非常に大切です。家庭や学校での読書活動の推進が必要です。</p>	<p>登下校だけでなく、なかよし活動や運動会でも子どもたちが笑顔で過ごし、異年齢の子どもたちが仲良く楽しそうに過ごしていました。</p>	<p>交通安全教室や避難訓練等を通して、危険に気付き、考え行動することを身に付けてほしいと思います。また、家庭との連携で、早寝、早起き、朝ご飯の取組を続けるとともに、体力の向上にも努めていただきたいと思います。</p>	<p>学校の取組を広報することは、地域と学校をつなぐ大切な活動です。地域は、学校の取組を知り、応援しようとしています。その中で、子どもたちも地域の一員であることが実感できていると思います。</p>
改善方法に向けての意見	<p>学力向上と読書活動の推進への取組を進めてください。これからの社会を子どもたちが自分の力でしっかりと生きるために、自分で考えて人と力を合わせていけることはますます重要です。地域全体でそのような子育てに取り組む必要があると感じます。</p>	<p>地域で子どもたちを見守る取組を長年続けていることも、子どもたちの心の安定につながっているのだと感じます。児童一人一人の様子に合わせたきめの細かい指導に今後も取り組んでください。</p>	<p>今年度は制約の多い一年でしたが、これからも家族のふれあい等家庭と連携した取組や実践的な避難訓練等を工夫して取り組んでください。</p>	<p>地域と学校の良好な連携の中で、子どもたちも広瀬の子どもであることを実感し、落ち着いて成長していると思います。今後もこの関係の中で、子育てが続けられるよう願います。</p>

3 その他のご意見

子供たちが「ふるさと広瀬」を感じ、「広瀬の子供でよかった」と実感できる取組を大切に、小さい学校であることを強みとして学校と保護者・地域が連携した取組を続けていきたいと思っています。